

会 議 録

会 議 名	令和7年度第4回小金井市市民協働推進委員会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和8年3月26日(木) 18時30分～19時30分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎6階 601会議室		
出 席 委 員	田中敬文 委員長 邦永洋子 副委員長 石黒めぐみ 委員 森田眞希 委員 森 純一 委員 深澤 亘 委員		
欠 席 委 員	な し		
事 務 局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 中川法子 コミュニティ文化課係長 津端友佳理 コミュニティ文化課主任 武田麗子 コミュニティ文化課主事 佐原涼太 2 小金井市市民協働支援センター準備室 北脇 市民協働推進委員 赤石 市民協働推進委員		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		傍聴者 数	0人
会 議 次 第	(1) 令和7年度実施協働事業提案制度の報告について (2) 令和8年度実施協働事業提案制度の進捗について (3) その他		
提 出 資 料	1-1 やさいじん製作委員会 2年目 1-2 一般社団法人 k i k i 2年目 2-1 小金井市提案型協働事業採択決定通知書(郷土史) 2-2 小金井市提案型協働事業採択決定通知書(防災植物) 2-3 小金井市提案型協働事業採択決定通知書(K I S S A) 3 協働講演会 アンケート結果集計 4 N P O法人派遣研修について 5 横浜市市民協働推進センター		

【田中委員長】 ただいまから令和7年度第4回小金井市市民協働推進委員会を開会いたします。

本日の会議は傍聴可能となっております。

それでは、まず配付資料の確認を事務局からお願いいたします。

【事務局】 資料の確認をさせていただきます。

本日の会議資料は、次第を除いて8点ございまして、資料1-1「やさいじん製作委員会 2年目」、資料1-2「一般社団法人k i k i 2年目」、資料2-1「小金井市提案型協働事業採択決定通知書（郷土史）」、資料2-2「小金井市提案型協働事業採択決定通知書（防災植物）」、資料2-3「小金井市提案型協働事業採択決定通知書（K I S S A）」、資料3「協働講演会アンケート結果集計」、資料4「NPO法人派遣研修について」、最後にカラーの横浜市の市民協働推進センターの資料をお手元に配付しております。不備等がございます方がいらっしゃったらお申しつけください。

以上です。

【田中委員長】 よろしいでしょうか。

それでは、次第の1番、令和7年度実施協働事業提案制度の報告についてです。まずは事務局から報告をお願いします。

【事務局】 それでは、令和7年度実施の協働事業提案について報告させていただきます。今回は皆さん2年目の事業内容についての御説明となります。

資料1-1を御覧ください。市民提案型のほうのやさいじん製作委員会における「やさいじんと学ぶ！小金井わくわく農業プロジェクト」についてになります。

こちらは2年目の事業として、防災をテーマとして畑で防災訓練を実施いたします。1年目に実施した畑探検事業の振り返りから出たアイデアを基に、様々なイベントを開催予定となっております。

プレゼンテーションの際に御指摘をいただきましたが、ファシリテーターについては、大熊教育長に協力依頼を予定しているとのことです。

なお、1年目からの継続として、やさいじんカードゲーム大会、産業祭り出店を行っていく計画となっております。

続きまして、資料の1-2、行政提案型の一般社団法人k i k iさんの「DOKI DOKI 妄想こがねいヒストリー」についてです。

DOKI DOKI 妄想こがねいヒストリーにつきましては、2年目は5つの項目を挙げております。特にaの「看板を使用した小学校での出張授業の実施」については、現在、小金井市内の小学校1校での実施を想定しているとのことです。そのほか1年目で設置した看板を巡るデジタルスタンプラリーを実施。複数箇所を回ると景品がもらえるイベントも開催予定とのことです。

報告は以上になります。

【田中委員長】 どうもありがとうございました。ただいま事務局からの報告につきまして、何か御質問ございますでしょうか。

この来年度実施の2つの事業については、予算の中にきちんと予定していること、違いないですね。

【事務局】 はい。

【田中委員長】 k i k iさんのウォークラリーのところ、漫画（初版特別仕様）とありますが、この漫画は何でしょう、誰が書いているのでしょうか。自分たちで書いたものですか。

【事務局】 4コマは自分たちですね。二次元コードをかざして4コマ漫画が出るようになっていますが、その4コマ漫画自体はk i k iさんがオリジナルで書いている4コマ漫画になります。

【田中委員長】 ただ、これ景品で個数と書いてあるから、冊子もしくは印刷したものを配る。何冊と書いてありますか。

【事務局】 上限50冊とあります。

【田中委員長】 市役所で渡すと書いてありますね。

【事務局】 取りに来ていただいて、お渡しする。市役所か、きっかけ家さんでやるということですね。

【田中委員長】 ほかにはいかがでしょうか。どうぞ。

【石黒委員】 このやさいじんトレーディングカードゲーム体験会が昨年、ブックオフでやっていたのをたまたま見たので、非常に子どもたちの参加が少ないのもつたないと思っています。何か学校でお知らせをしたのでしょうか。

【事務局】 学校はしていないと思います。

【石黒委員】 スタッフが一生懸命だったのですが、子どもも2人ぐらいでした。少しもつたないなと思いました。ほかの会には参加しているかもしれないのですが。

以上です。

【事務局】 事務局です。やさいじん製作委員会は、いろいろなイベントをほかにもされていらっしゃる。この協働事業とは別のイベントも行っていらっしゃる。いろいろな参加を募るためのアイデアをお持ちだと思います。そのため、2年目の事業に向けても何か新しい策を考えていただけるのではないかと考えております。

【石黒委員】 ありがとうございます。

【森田委員】 たしかそのときインフルエンザだか何だかで、ちょうど重なってしまっていたようです。申し込んでいて、うちの施設に遊びに来る子たちもしていたんですけども、たしか学級閉鎖等で行かれないと言っていたと思います。

【石黒委員】 そういうこともありますよね。

【田中委員長】 そういう申し込んだけどお休みする場合っていうのは、連絡は電話ですか、LINEですか。あるいは黙って来ないのですか。

【森田委員】 来ない場合もあります。私のところで把握して、代わりに何人、ここでも集めていきますという子たちに関してはLINEとかでつながっている、やさいじん製作委員会と連絡はできます。

【田中委員長】 トレーディングカードを受けるのは、これは外ですか。

【石黒委員】 そのときはブックオフのコーナーでやっていました。室内で。

【田中委員長】 室内か。いや、いろいろな自治体でいろいろ事業をやっていますが、例えばプレイパークも、急に雨が降ったりすると、どうしましようかということになる。やるほうも参加するほうも、ほかに場所を用意しておくというのがなかなか

難しいですね。

ほかにはいかがでしょうか。2つの事業について。皆さんもお時間等ありましたらぜひ、実際に出かけていただくといいかと思えます。よろしいでしょうか。そうしましたら、事業継続ということで、本件は継続ということで進めさせていただきたいと思えます。ありがとうございます。

そうしましたら、前回プレゼンで皆様に審査をしていただきましたが、2番目、令和8年度実施協働事業提案制度の進捗状況について、まずは事務局から御説明をお願いします。

**【事務局】** 事務局です。それでは、令和8年度の実施事業の進捗について御説明いたします。

不採択決定通知書があるんですが、資料2-1になります。こちらを御覧ください。令和8年度においては、市民提案型が2件、行政提案型が1件、応募があり、市民提案型に御応募いただきました郷土史研究会においては、残念ながら不採択、資料2-1となりました。

続きまして、資料2-2になります。防災植物こがねい会における市民提案型、こちら採択の結果通知書を御覧ください。こちらにつきましては地域安全課、経済課、環境政策課の3課との共同事業となっており、2年間の採択となります。防災植物という言葉自体がまだまだ認知度が低いという視点から、まず認知度が高められるようなイベントの実施をお願いしております。

続きまして資料2-3、小金井国際支援協会、KISSAさんにおける行政提案の採択結果を御覧ください。KISSAさんの事業につきましては、地域安全課及びコミュニティ文化課との協働事業となっておりまして、こちらも2年間の採択となっております。審査でも御指摘いただいております「防災ガイド」の配布につきましては、地域の方々や他団体とも連携して、外国籍の方に情報が届くようにしております。細かな具体的にどのようなことにつきましては、今後、地域安全課と協議していくこととなります。

現在こちらの2つの事業につきましては、団体及び事業担当課との打合せ日程の調整中となっております。打合せが終了した後に協定書の内容を協議いたしまして、スムーズに協定書の締結を図ればというふうに考えております。

進捗につきましては以上となります。

**【田中委員長】** 進捗状況につきまして、何か御質問、御意見はございますでしょうか。

資料2-1を拝見しますと、日付が3月5日になっていますが、その後、この不採択となった団体から問合せとか、何かそういうのはありますか。

**【事務局】** ありません。

**【田中委員長】** そうですか。

いかがでしょうか。打合せは、この年度内になさいますか。

**【事務局】** 年度内はなかなか厳しく、明けてからになります。

**【田中委員長】** 分かりました。じゃあまた打合せが終了してから内容と回答を見させていただければと思えます。ありがとうございます。

特にないようですから、本件は以上とさせていただきます。

それでは、3番、その他です。事務局からまずは説明をお願いいたします。

**【事務局】** それでは、事務局から4点ございまして、まず1点目、資料3を御覧ください。資料3は、第2回の推進委員会でもお知らせしました、小金井市の協働講演会についてです。令和8年1月17日の土曜日に実施しまして、約30名の方に御参加いただきました。アンケートをお配りしまして、その結果を配付してありますので、お時間あるときに御覧いただければと思います。

次は資料4になります。資料4がNPO法人派遣研修についてになります。こちらは例年実施している市の職員の研修になります。今年度は35名の職員を派遣し、10団体のNPO法人さんに受け入れていただいております。御協力いただいた団体の方々、本当に感謝申し上げます。

この研修の成果発表の場としまして、令和8年1月22日に報告会を実施しております。次年度につきましても、引き続きNPO法人さんに御協力いただきながら、この職員派遣の研修については継続したいと考えております。

最後の3点目でございますが、カラーの資料を御覧ください。令和8年3月13日に、横浜市の市民協働推進センターへコミュニティ文化課と準備室で視察に行っていました。

**【事務局】** 詳しい御説明は次回の委員会ということなので、チラシを見ながらお話をさせていただきたいなと思います。

横浜市の市民協働推進センターですが、前々から行きたいと思っていた理由が、庁舎の中にこのセンターがあるというところでした。小金井市も庁舎の1階の正面の入り口、入ってすぐのところはこのセンターができる予定としています。貸出しスペースとして単独ではないのですが、市民参画スペースという、市民の方が利用できるスペースもあり、しつらえがとても目指しているものと似ているというところから、行かせていただきました。

チラシにちょうど今、「協働のはじまり」から「社会課題解決へ」という一覧の道筋の、こちらにちょうど部屋の感じが出ておりますが、協働の打合せにスペースを提供と書いてあるのが打合せスペースで、横浜市はとても市役所が大きいので、交流スペースはより広い素敵なスペースがございました。本当に規模が比べものにならないので、この横浜市の大分縮小した形が、小金井市になるというようなイメージを持っております。やはり横浜市は政令指定都市なので、また少し違うかなと思います。

もう少し別の視点としては、政令指定都市なので、横浜市全体の協働を考えるのがこのセンターで、趣味の団体とかを立ち上げたいといった市民活動などは、地元の活動の場所があるという形で、ここが全て排除をしているわけではないのですが、それぞれの場所でそういう活動もできる、ここは横浜市のためにみんな何を協働してやりたいのかという考えを持っている人たちと一緒に何か事業をする場所みたいな形で、少しすみ分けがされていると思いました。

今、再検討委員会ということで、平成24年に市民協働の在り方検討委員会で答申をつくって、それを基にセンター化ということを目指しておりましたが、庁舎が建たないまま10年がたってしまったので、ここで先端化に向けて一度、再検討委員会と

いうものを開き、平成24年の答申の再検討を今年の令和7年度と8年度行っているところでございます。

まだ半分ありますが、そこでもセンターに向けていろいろな話し合いを進めているところです。センターが何を中心にやりたいのかというメッセージというのでしょうか。今ちょうど再検討でも協働とは何だろうというところから一緒に話し合いをしながら、センターに必要な機能というのを次回お話しします。そこからまた皆さんの意見を集約しながら、どういったものを中心に、何を発信していくのかというところを今後、後半の再検討委員会で決めていく流れになると思っています。横浜市さんは左上の青い字のところに、「横浜市市民協働推進センターは、協働による社会課題解決に取り組む皆さんを応援しています」という、これが横浜市のメッセージで、協働で社会課題解決に取り組む人たちを、このセンターではメインターゲットではないですが、発信をされているのかなと思います。小金井市としてはどこなのかというところがまた、これから皆さんと再検討委員会のほうでお話しできるかなと思うので、また再検討委員会の様子もこちらの委員会にて報告をさせていただきつつ、来年度やっていきたいと思っております。

以上です。

**【田中委員長】** よろしいでしょうか。幾つかあったかと思いますが、資料3の一番最後のところ、横浜市市民協働推進センター、行かれた方いらっしゃいますか。私、中は行ったことありませんが、駅からデッキでそのまま行けます。それがすごくいいなと思っています。

横浜市というのは、NPOと市との協働が全国でも最も早く始まったところと言われています。NPOの協働についても、ガイドラインを全国に先駆けてつくって、多くの自治体がそれをまねしました。その後、ガイドラインや原則もかなり変わりました。それでも、こういう形で非常に使いやすいスペースを維持しているという点は、すごいと思います。横浜市は全国で一番財政規模が大きい市なので、ほかの市とは比べないほうがいいかなという気がします。

それでも先ほどお話いただいた私どもの小金井市も、時間が経ちましたが、その分、いろいろと市民側の要望も通った点は、ある意味ではよかったかなと思います。以前の最初の案ですと、いわゆる市民が利用できる共同のスペースというのは、5階か6階に用意しようと言われていたものを、それを市民課が団体とNPO等いろいろ働きかけて、1階に移したという経緯もありますが、これは結構ほかの自治体でも知られているもので、小金井ってすごいですねと言われます。当初の計画を変えたということで、そういう点で早くできてほしいですね。本当にできるのですねといういろいろ言われます。

御意見よろしいでしょうか。

**【事務局】** 続きがあります。事務局から最後の4点目でございます。今年度の委員会は本日が最後になります。この場をお借りしまして、皆様の御協力に本当に御礼申し上げます。1年間ありがとうございました。

皆様の任期が3月31日をもって満了となりますけれども、皆様から継続していただけるというお返事をいただいておりますので、引き続き残りの2年をお願いしたい

と思います。よろしくお願いいたします。

次年度の第1回の推進委員会につきましては、7月頃、例年開催しておりますので、改めて事務局からまた日程調整をさせていただきたいと思っております。

以上、よろしくお願いいたします。

【田中委員長】 ありがとうございます。委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

今、御説明いただいたこと、少し前に戻らせていただきます。まずは小金井市の協働講演会、これ御参加された方いらっしゃいますか。ありがとうございました。何か参加されたコメントとか印象等ありますでしょうか。

【邦永委員】 非常に好評というか、参加者の皆さんたちアンケートにもあるように、来てみてよかったという声がたくさん多かったです。発表していただいた団体さんへの興味、関心がわいて、会ってきたという方も多かったです。でも、会って初めて分かるとか、知り合った人たちがすごくグループごとに分かれて、話合いも盛り上がっていたと思います。

【田中委員長】 森田委員、いかがでしたか。

【森田委員】 参加した人自身、皆さんそれぞれが聞く、プラス自分もしゃべりたいという人たちが多かったので、3グループに分かれてワークの形でやり取りするという形式を取ってよかったなど見ていて思いました。

【田中委員長】 グループ同士は皆さん、御存じの方ですか。

【森田委員】 知り合いの人もいるし、そうでない人もいるし、年代も結構ばらばらで、若い人から年配の層の方まで満遍なくいました。

【邦永委員】 若い人が地域に出て活動するというのを聞いて、すごく良かったです。

【田中委員長】 90代の方もいますよね。

【邦永委員】 そうですね。すごい幅広かったです。

【森田委員】 あの方、この間、その後の振り返りの集まりの場を持って、そこにもいらしていただきました。

【田中委員長】 すごいですね。30代だけいないですね。

【森田委員】 ちょうど30代は子育てもあって、自分の興味とかでないところで時間取られる世代だったりしますよね。

【田中委員長】 来年度もこの協働講演会は実施される予定ですか。

【事務局】 はい。予算は可決されましたので。

【田中委員長】 よろしいでしょうか。そうしましたら、あともう一つ、NPO法人派遣研修についてです。多分ここも皆さん方にはお世話になっていると思いますが、この派遣研修は全国から見ても小金井市、非常によくやっているというのは、私はあちこちでお話しているので、また問合せ等もあるかもしれません。

多くの自治体は、講演会みたいな形で、人に来てもらって話をしてもらう程度のもので多いですが、小金井市は何とふだんの仕事を差し置いて、NPOと市民団体に取り組む専従みたいな形で取りかかるといふ、これはすごいことをやっているなということなのですが、今回は何日間行かれていましたか。

【事務局】 それぞれのNPOによって異なりますが、短いと3日ほどで、長いと5、6日ということもあります。

【田中委員長】 それがすごいことですよ。これは受け入れてくださった団体の方もいらっしゃると思いますが、いかがだったでしょう。

【森田委員】 うちも第1回目からいらしていただいています。1回目の方ともずっとそのままつながりがあって、毎回いらしていただいた後、市役所のそれぞれの課に戻られて、ちょっと意識的にのぞき見しています。例えばうちの施設にいる子どもたちを連れて行くときもあります。「元気にしていますか」というやり取りをするようにしています。そのときいらしたときと、そうやって訪ねたときとで、何かこのやり取りとか表情とか変わって、新たな関係性が築けているようなことを実感しますので、これからも参加させていただきたいと思っています。

【田中委員長】 邦永委員、いかがでしょうか。

【邦永委員】 私も第1回目のときから職員さんを派遣していただいている、NPOと行政の差異みたいなところ、違いというのをいつも発表されるというところで、私から違いと言うと離れていく感じがしますが、それぞれの強みを市政に生かしていくんだというところで見てもらえると、とてもいいと思いますというお話をさせていただきました。同じ方向を向いて、小金井市をよりよくい町にというところで、一緒に協働していけるといいですねというコメントもさせていただきました。

【田中委員長】 派遣された人は、いかがでしたか。

【森田委員】 今回ですか。皆さん本当にいい方でした。

【田中委員長】 いや、その頃、派遣研修をされた方が、今度は派遣研修を担う側、NPOの協働を推進する側にいるということだと思います。これもいろいろな自治体でお話していますが、成果が出るまで時間がかかるということがあるので、これは言っています。

こういうNPOの人と市役所の方が集まる場、あるいは発表する場に市長さんがおいでになるとか、挨拶されるとか、そういうことを伝えると、「すごいですね」と言う市はたくさんあります。うちの市ではそんなこと考えられません。市の名前は言いませんが、そういうところもあるようです。それだけある意味では市民と市役所が近いという見方もできるかなと思います。

【森田委員】 横浜市みたいに大きいところだとかなわないけど、でも、小金井市ならでは感じがして、いいですよ。

【田中委員長】 森委員は多分いろいろな自治体とNPOとの協働は御存じだと思いますが、小金井市の状況なんか御覧になっていかがでしょうか。

【森委員】 これはあまりないですね。所管課が一緒のところもありますけど、複数の所管課の方が同じ団体のところと一緒に来て、部署を越えて同じ団体のことを見ているというところが面白いと思います。どうしても一所管課と一団体という、そういった関係性になりやすいところが、一緒になっている感じがいいと思います。

【森田委員】 あとは、うちにもいらした保険年金課とか納税課の人とか、ふだん数字しか見ない方が、その先にいる人が、この人たちなのかというのがよく分かったというふうにおっしゃっていて、これからも数字の先の皆さんを忘れないでください

と話したりします。

【森委員】 先日、別の自治体で、庁内研修でグループワークをりましたが、ばらばらの人たちがグループに入って、その市も地域課題とか強みは何だろうと考えると、お互い付き合っている団体が違うので、「そんな団体あるの」と発見につながり、それだけでふだんの仕事に使えるような話題になることもあります。なかなかお仕事上、部署を超えて、しかも接点が少ない部署同士が、一緒のことをやるということが、団体と協働する前に、庁内の協働をするということのも大事だということがすごくいいなと感じました。

【田中委員長】 派遣研修、もうこれ何年目ですか。

【事務局】 もう10年以上やっています。

【田中委員長】 ぜひこれから続けていただきたいと思います。

皆様、ほかのものも含めてですが、その他、今、事務局から御説明いただいた、4点あったかと思いますが、何かコメント等ございましたらよろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

皆様、次年度も委員を継続してくださるということで、どうもありがとうございます。

そうしましたら、ほかに何も無いようでしたら、これにて本日の会議を終了したいと思います。本日はどうもありがとうございました。また来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

— 了 —